

2023 年度

# 阪南 HIAT 交流報告書

谷口 香音

## 8月6日(日) 一日目

関西空港から 2 時間のフライトを経て、台北桃園空港に到着しました。台風の影響で、数日間激しい雨が降っていると聞いていましたが、台風一過の晴天というべきか、じりじりとした日差しが照りつけていました。その後、豊原高校の先生や他の HIAT メンバーとも合流を果たし、HSR（台湾高速鉄道）に乗って台中へ向かいました。台中に到着後は、先生の旦那さんの運転で各ホストファミリーのお宅まで送り届けてくださいました。到着後はホストファミリーから部屋の案内がありました。今日から 2 週間滞在させていただきます。立つ鳥跡を濁さず、というようにきれいな状態で最後にはお返しをできたらと思います。荷解きを終わってから、ホストファミリーと夕食を済ませその日は終わりました。今日は学校へ行くことはありませんでしたが、明日から豊原高校の学生さんと交流が始まるので気合を入れて頑張りたいと思います。



## 8月7日(月) 二日目

今日から豊原高校への登校が始まります。今日は新入生の初登校らしく、夏休み中ですが高校は多くの生徒で賑わっていました。私たち HIAT メンバーは図書室に案内され、待機するようにと言われました。どうやら基本的な活動場所は、この図書館のようです。



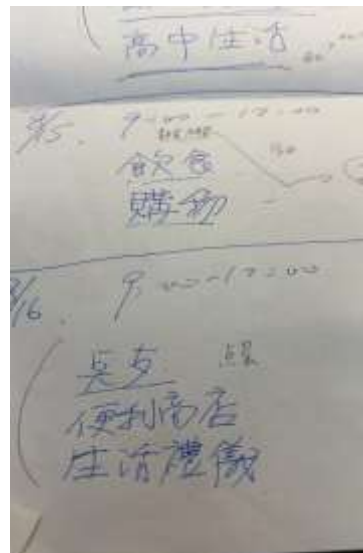
先生を待っている間、図書室内を散策しました。日本語の小説や、日本語検定に関する書物が多く並べられていました。本棚を見ていると卒業アルバムを発見しました。クラスごとに、生徒たちで自由に編集する、といったスタイルの卒業アルバムでした。ページをめくると、過去に阪南高校と豊原高校が交流した時の写真を掲載しているクラスがありました。

私たちの思い出は、みんなの心の中にも残っていたことを思うと、少し感慨深くなってしまいました。



10時ごろ、先生と今後の授業についての計画会議が開かれました。授業そのものは、来週の月曜日から金曜日で、9:00~12:00の3時間です。したがって、1週目は来週の授業に向けての準備期間となります。HIAT メンバー3人と先生で話し合いを進め、1週間の大まかな授業計画を決めました。例えば、授業1日目は「自己紹介」「日本文化について」「高校生活について」です。先生の希望は、10月に日本へ語学研修に行く生徒たちに向けて役に立つ授業をしてほしいとのことでした。そのため、それを軸として、3人で授業内容についてより具体的に話し合いました。12:00ごろになると、豊原高校の2年生や3年生の生徒と一緒に昼ご飯を食べに図書館へ来てくれました。8人ほど来てくれ、半数ほどがこの10月から語学研修で日本へ来るようです。また、過去に私たちと交流のあった豊原の卒業生も来てくれました。一緒に食事を楽しみ、13:00になると授業のある豊原の生徒は教室へ帰っていきました。学校は夏休み中ですが、補講授業があるようです。残った生

徒と卒業生、そして HIAT メンバーで校内見学へ出かけました。ちょうどそのころ、新入生も校内見学をしており、後に続いて校内を歩きました。夜ご飯は、卒業生たちと一緒に火鍋を食べに行き2日目が終わりました。





## 8月8日(火) 三日目

8 時ごろに学校へ到着し、2 時間ほど授業資料の作成に取り掛かりました。お昼ご飯は、11 時ごろに学校前のお店で済ませました。

(↓朝ごはんの珈琲と包子)



(↓昼ごはんの烤麵)



前日に図書室へ来てくれた豊原の生徒は、お昼ご飯を食べていた子たちがほとんどだったので、先に食事を済ませたのはそのためです。12 時になると前日同様、多くの生徒が図書室に来てくれました。資料の作成中に、みんなの日本語レベルがわからない、という課題が挙がっていたので、この場で尋ねるのはいいタイミングだと思い、少し問題を出題しました。先生から 50 音を学び終えたばかりの子もいると聞いていたので、まずはひらがなの問題を出しました。その場にいた生徒は全員答えることができたので、次はカタカナの「ヌ」を見せました。台湾人がよく利用する注音記号に似ている文字があるため難しかったようです。時間はかかりましたが全員が読むことができました。次に「アルバイト」を見せましたが、読めない生徒がちらほら出てきました。文字が並ぶと少し難易度が上がるようでした。次は数字の問題を出しました。中国語で数字を言って、日本語で答えてもらうという形で出題しましたが、日本語がよくできる子も 1000 台になると難しいようでした。中には 10 までしか数えられない生徒もあり、日本語のレベルは差があることが分かりました。資料作成においてとても参考になりました。また、みんなの日本語レベルを確認するいい機会でした。その後はみんなの“小名(幼名)”をたずねたり、台湾語を教えるもらったりしました。帰宅後は、明日先生に提出する来週 1 週間の授業日程と今日得た日本語レベルを参考に授業資料の作成に取り掛かりました。

## 8月9日(水) 四日目



今日からは朝 9 時登校へ変更になりました。前日 2 日間は、朝 8 時に登校していましたが、何もすることができない時間を過ごしていたためです。今までは、授業のあるホスト（ファミリーである）生徒と 8 時に学校へ着くように行っていたのですが、私たち HIAT メンバーだけで学校へ行かなければなりませんでした。バスが時間通り来ないというトラブルに見舞われましたが、無事に時間通り 9 時に学校へ着くことができました。到着するやいなや、校長先生に挨拶に行くと伝えられ、待合室に案内されました。聞いたところによると今年から赴任した新しい校長先生だそうです。学校の前にたくさんの花が飾られており、てっきり新入生の祝いの花だと思っていましたが、新校長先生に対する祝いの花だったようです。しばらくして、校長室に案内され挨拶を交わしました。校長先生は、ご自身が日本へ行った際のお話をされ、特にカレーライスがおいしかったとおっしゃっていました。それからみんなで記念撮影を行い私たちは図書室へ戻りました。その後は、ひたすら授業資料に取り組み、12 時頃まで作業を続けました。いつも通りお昼に豊原の生徒が図書館へ来てくれ 16 時ごろまで雑談を交わしました。会話で特に印象的だったのは、各家庭のお風呂の数です。どの家庭も 2 個以上あり、多い子で 5 個ありま

した。また、家は 3 階建てが多く、5 階建てになるとエレベーターをつけなければいけないと言っていました。日本の家庭では基本的にお風呂は 1 個なのでとても驚きました。他にも、大学の入試テストにおいて「先住民」は加点されるという特別処置があることも教わりました。かなり興味深い内容だったので、時間がある時に詳しく調べたいと思いました。また、日本からもってきていた「ねるねるねるね」をみんなで作りました。存在は知っていても、作ったことがある子はおらず、みんな興味津々でした。すごく楽しそうに作っていたので、もっとたくさん持ってくればよかったと少し後悔しました。放課後は、お昼に仲良くなった豊原の生徒とバディと私たちで夜市へ行きました。韓国式のプリクラをとったり、食べ歩いたりと夜市を楽しみました。

(↓ 校長室にて記念撮影)



(↓ 学校近くの早餐店)



(ねるねるねるね体験↑)



(↑ 夜市のようす ↑)





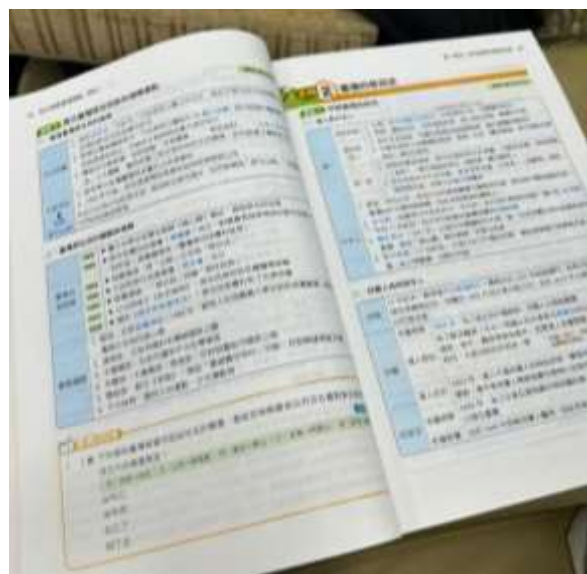
8月10日(木) 五日目

今日は授業見学に行きました。本来は地理の授業のようですが、私たちに気遣ってか日本の歴史や経済について話をしてくれました。



明治維新から始まり、バブル経済について2時間続けて授業を見学しました。時々私たちも先生に当てられ、今現在の日本の時給や物価について聞かれました。周囲を見渡すと寝ている子もちらほら見受けられ、日本も台湾も授業風景に変わりないと感じました。そして休み時間になると、クラスの生徒が翻訳機を使いつ

つも話しかけてくれました。授業見学後は、図書室へ戻り、授業資料の作成に取り掛かります。12時ごろになるといつも通りに豊原の生徒が図書室へ来てくれて雑談をしました。



ある生徒が歴史の教科書を持ってきてくれていたので、解説をしてもらいながら台湾の歴史について教わりました。「先住民」の反抗時代、清統治時代、日本統治時代と初めて知ることが多く、とても勉強になりました。また、日本の歴史についても少し習うようで、徳川家康・豊臣秀吉・織田信長はみんな知っていました。今度は私が日本の季節行事や祝日などについて教えました。バレンタインデーや母の日・父の日・お月見など似ている行事はあるものの、台湾で実施される日にちが違うそうです。日付が違う主な理由としては、



台湾が旧暦を主としているためです。また父の日は、「爸爸（パー）」と音が似ていることから 8（パー）月 8 日だそうです。成人の日や山の日などは台湾になく、毎月のように季節行事や祝日がある日本に対して、台湾の生徒はかなり驚いていました。13 時頃になると授業のある生徒たちは帰っていったので、その後は豊原の卒業生と話をしていました。さすが日本語の上級者です。「わかりました」「わかります」の違いを尋ねられました。普段意識して使っていないので、うまく説明できず日本語の難しさを感じました。だじゃれを教えてあげ、台湾のスラングを教わりました。

8月11日(金) 六日目



今日はリハーサルを行いました。おかしい文章がないかをお手伝いに来てくれている卒業生に確認してもらい、模擬授業を行いました。来週から実際に授業で使う教室へ行き、まずはスクリーンの投影方法を確認しました。当日スムーズに行えるよう月曜日に行う授業を一通り行いました。リハーサルを通して自分の改善点や他メンバーの発表を見て、見習うべき箇所を発見することができました。教室が利用できるのは12時までだったので、時間になると図書室へ戻り昼食をとりました。今日も生徒たちが交流をしに図書室に来てくれました。13時から新入生に向けてクラブ紹介があるという情報を得たので、私たちは見学に行くことにしました。クラブ紹介は体育館で行われており、ちょっとした学芸会のような盛り上がりを見せていました。

日本と比べて部活の数が非常に多く、ダンス部だけで5つほどありました。台湾らしいカンフー部や、バスケットボール部バレーボール部などの運動部もありましたが、文化部のほうが人気という印象を受けました。文化部には、日韓文化部やドイツ文化研究部、ボランティア部などがありました。



アニメ漫画研究部はコスプレをして部活紹介をしており、とても印象的でした。横を見ると私たちが見学する席にコスプレをした子が座っていたので驚きました。よくよく見るといつも図書室に来てくれる生徒でした。他にも、図書室に来てくれる生徒たちは



各々のクラブ紹介に出演しており、みんなで声援を送りました。卒業生とも一緒に見学に来たのですが、在学時代に彼らが所属していた部活を懐かしそうな目で見えており、見学に来てよかったと思いました。最後は、ハイレベルなダンス部の発表で締めくくられ会場は盛大に盛り上がりました。クラブ紹介が終わるころには15時になっていたのでそのまま下校しました。夕食は、仲良くなった生徒たちと、鼎泰豊というお店に食べに行きました。





## 8月12日(土) 七日目

今日と明日は土日のため学校は休日です。休日1日目、私たちは台北へ行きました。バディと、台北に下宿しているバディのお姉ちゃん、お姉ちゃんの交際相手に台北を案内してもらいました。お姉ちゃんとその交際相手は、日本語を勉強しているようで、簡単な会話やリアクションなどは日本語でできました。

台中から台北へは、高速バスに乗って向かいました。2、3時間ほどで台北に着き、電車に乗り換え国立故宮博物院に行きました。



ここでお姉ちゃんたちと合流しました。故宮博物館では、18歳未満と台湾の学生は入場料がかからないそうです。そのため、私だけチケットを購入し、中へ入りました。展示物はすべて撮影可能で、日本は、基本的にこういった博物館では撮影禁止なので驚きました。私は、かの有名な「肉形石」を見ることができました。肉形石は、とても小さく、思っていたほどおいしそうではありませんでした。「翠玉白菜」は、外国へ貸し出し中だそうで見ることができませんでした。博物館にはそ

れら以外にもたくさんの展示物がありました。日中戦争時に台湾が日本の天皇に送った品々や清時代のお宝など一日ですべて見る事ができない量の作品が博物館では展示されています。

お昼は場所を移動し、「線麵」を食べに行きました。餡と麺とイカが絡んでとてもおいしかったです。昼食後は台北101へ向かいました。500メートル強あるビルの佇まいは圧巻でした。中には、有名なお店が立ち並んでいました。隅々まで見たわけではありませんが特に目新しいものはありませんでした。よくあるデパートといった印象です。この日は天気が悪く、夜景がきれいな夜までは時間があつたので展望エリアまでは上りませんでした。

その後は夜市へ行き、食べ歩きました。帰りは遅かったので HSR に乗って帰りました。台湾の学生の休日の過ごし方を教えてもらったような気がして、とても楽しい 1 日になりました。

8月13日(日) 八日目



休日2日目は、台中の遊園地へ行きました。HIATメンバーとそれぞれのバディ、豊原高校の卒業生、いつも図書室へ来てくれる生徒たちの総勢9人で麗宝樂園へ行きました。USJというよりも、園内はまるで枚方パークやナガシマスパーランドのような雰囲気が漂う遊園地でした。夏休み中のため少し人が多く、待ち時間のあるアトラクションもありました。日本の遊園地では見たことのないようなアトラクションもありとても楽しかったです。ひとつ驚いたことは、たいていの乗り物で携帯の使用や撮影が可能だということです。日本では考えられないことで、信じられませんでした。とは言いつつも、お言葉に甘えて細心の注意を払いながらアトラクション体験中にたくさん写真を撮りました。台風接近の影響のためか天気は、晴れたり雨が降ったりと室内に避難することもしばしばありましたが、十分に遊園地を楽しむことができました。



17時ごろに私とバディは先に解散し、ホストファミリーと火鍋を食べに行きました。帰宅後は、授業資料の最終チェックを行いました。明日からついに授業が始まるため、頭の中でシミュレーションを行い資料の修正作業に取り掛かりました。





## 8月14日(月) 九日目

今日から授業が始まります。そして、私たちが台湾へ来てから1週間が経ちました。気を引き締めて残り1週間頑張りたいと思います。今回の授業には20人の生徒が参加してくれ



ました。先生から軽く紹介があり、私たちからも自己紹介を行いました。一人あたり5分ほどの発表を行い、次に日本文化について紹介しました。取り上げたテーマは「成人式」です。紹介に入る前に何か知っている通過儀礼はあるかと尋ねたところ、誰も手が上がらず、まだ照れているのか本当に知らないのかはわかりませんが、知ってもらいたいきっかけだと思いました。次は、阪南高校の紹介に

入りました。授業に参加している生徒のほとんどが10月に阪南高校か太子高校へ行くようです。日本の高校に行った時に困らないよう、校則や高校生の一日の流れなどについて紹介しました。その後は、みんなにも自己紹介をしてもらいました。簡単な日本語の自己紹介が書かれたワークシートを配布し、ペアで練習を行ってもらいました。少し時間を取り、ランダムに当てながらみんなに前で発表してもらいました。生徒たちはとても緊張していましたが、みんな上手に日本語で自己紹介することができました。1時間ごとに10分休憩



をはさみつつ授業を行っていたのですが、時間が余ってしまったのでゲームを行いました。前のスクリーンに問題となる画像を映し出し、回答者は背を向けて、みんなからのヒントで何が映っているかを回答する、といったゲームを行いました。ヒントは日本語限定にしたので、最初は難しく、なかなか積極的に参加してくれませんでした。だんだん盛り上がっていき日本のアーティストや芸能人を映すと大盛り上がりしました。ほ

### <自己紹介をしよう!>

(例)

わたし なまえ  
はじめまして! 私の名前は〇〇です。  
〇〇と呼んでください。  
とよはらこうこう ねんせい  
豊原高校の〇年生です。  
しゅみ わが  
趣味は〇〇です。よろしくお願いします。

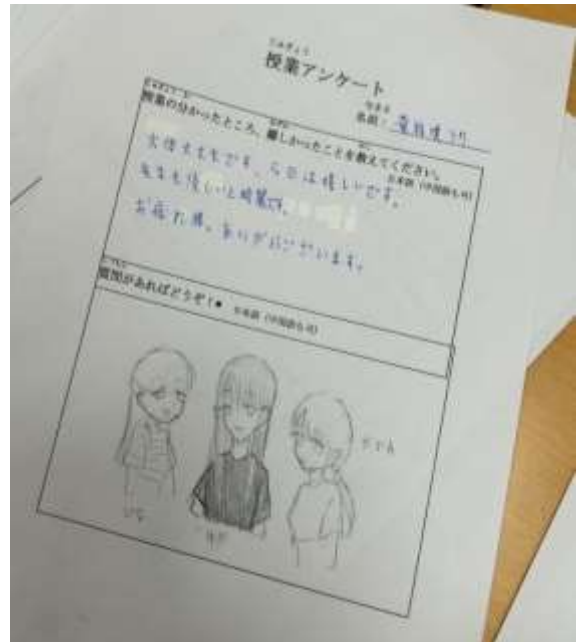
(memo)

--



どほどに親睦も深まったので、今日の授業に対するアンケートを取り、1日目の授業は終了しました。

家に帰ってアンケートを確認すると、「日本語がわからなかった」、といったようなネガティブな感想が目立ちました。今日紹介した、自己紹介も日本文化も高校紹介もすべて日本語で行ったのですが、すこし反応が悪いように感じたのはそのためでした。HIATメンバーで話し合い、授業内容の改善を行いました。まず、いまよりもっとわかりやすいスライドにすること、そして私たちの発表を日本語ができるバディに通訳してもらう、ということでした。明日様子を見てまた考えよう、ということで反省点と改善点を見つけた1日目でした。





## 8月15日(火) 十日目

今日は授業2日目です。前日の反省を活かし改善したので反応が楽しみです。今日は、日本の飲食マナーや買い物フレーズについて紹介します。



飲食のマナーでは、食事の挨拶、お箸の持ち方や食事中のルールについて紹介しました。



買い物フレーズについては、まずは日本のスーパーの紹介を行い、次に買い物で使えるフレーズを紹介、ペアで練習してもらいました。店員役と買い物客役に分かれ会話練習を行ってもらいましたが、かなり難しいようです。ランダムに生徒を当て、前で発表してもらいました。練習したら、次は実践！ということで、学校近くのスーパーへ校外学習に行きました。授業で習ったフレーズを使って生徒同士で会話練習しました。また、日本のスーパーとの違いをより詳しく話したり、目についた商品の日本語を教えたりなど1時間ほど滞在しました。お昼はフードコートで食べました。フードコートには、回転寿司があり私は台湾で初めてお寿司を食べました。日本の回転寿司に慣れているため、驚きの連続でした。お茶がティーパックだったり、お寿司よりも一品系が多かったりしていたのが印象的です。食事後はその場で解散しました。放課後は、参加生徒の一部と卒業生の子たちで台中市内へ遊びに行きました。ローラースケートが楽しめる施設へ行き、90分間リングを走り続けました。

若いお客さんが多く、中にはプロのように颯爽と走り抜ける中年男性もちらほらいました。



帰宅後、家の近くの夜市へ連れて行ってもらいました。そこは小規模ながら歴史ある伝統的な夜市だそうで、とにかく安くて有名だ、とホストマザーが言っていました。今回台湾へきてから、夜市は3つほど行きましたが、夜市によって雰囲気の違い、今回の夜市は格段とローカルな雰囲気が漂いました。シューティングゲームをし、縫い目から少し綿のでたタグのないぬいぐるみでスポンジボブのキャラクター・パトリックを手に入れました。





8月16日(水) 十一日目

きりつ  
起立 *Ki ri tsu*



れい  
礼 *re i*



おねがいます  
*o ne ga i shi ma su*

ちゃくせき  
着席 *cha ku se ki*



点呼



はい! (*ha i*)



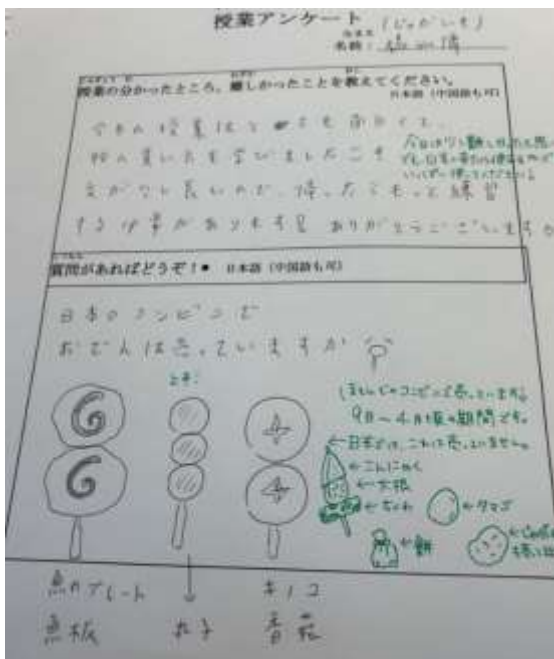
今日は授業 3 日目です。まず、授業に入る前に日本で行われる「授業の挨拶」について紹介しました。また日本式の点呼も紹介し、挨拶と一緒に実践しました。しかし、台湾での挙手はゲーのため、手を開いて返事をする、ということがなかなか難しくつつい手のひらを閉じてしまう生徒が多かったです。難しそうでしたが少し体を動かすので、楽しそうな様子でした。今日行う授業は、レストランでの注文、日本での生活マナー、コンビニで使うフレーズについてです。



レストランでの注文会話に入る前に、数字の復習から入りました。1から10の数え方や大きい数字の数え方などについて練習しました。日本で数字を数えるとき、ひとつ・ふたつ・みつつなど量詞によって読み方が変わってしまうので難しいようです。レストランでの注文練習では、ペアで自由にメニューを作ってもらい価格も自分たちで設定してもらいました。練習時間を十分に取ってランダムに当て前で発表してもらいました。日本での生活マナーでは、ごみの捨て方について紹介しました。実際にペットボトルを持ってきて、まずは生徒に台湾での捨て方を見せてもらい、その後私たちが日本での捨て方を実演しました。細かす



ぎる分別に生徒たちは驚いていました。生徒に配ったテキストを見るとみんなたくさんメモしており、一生懸命聞いてくれているのが伝わり、やりがいを感じました。帰宅後はコメントペーパーのチェックや明日使うスライドの修正を行いました。夜は、バディとその友達と夜市へ行きました。今日授業で習ったフレーズをさっそく使って買い物を楽しみました。積極的に使う姿が嬉しかったです。



## 8月17日(木) 十二日目

今日の授業は、日本の交通についてと観光地、そして若者の使う言葉の紹介です。

交通の授業では、まず交通機関を利用するときのフレーズを書き出してもらいました。そして、それを日本語に翻訳してもらい日本語でのフレーズを練習しました。その後日本での電車の乗り方、バスの乗り方、タクシーの乗り方について紹介しました。台湾ではバスを多く利用しますが、日本の都市部では電車が主な交通手段なので、入り組んだ線路図には目を丸めていました。次に日本の観光地についての紹介です。一番興味津々に聞いていた



たのではないかと思うほど食いつきがよく、日本のことが好きなのだという思いを感じました。そして、若者の使う言葉についての紹介は、出されたお題の意味を三択の中から正解だと思うものに手を挙げてもらう、といったクイズ方式で行いました。全部で八問ほど出しましたが、全問正解者はいないもののほとんどの人が多く正解していました。「タピる」はノートにメモしている子もいました。お昼は、一部の生徒と卒業生と私たちが学校近くの小籠包を食べに行きました。



## 8月18日(金) 十三日目

ついに授業最終日です。今日は調理実習を行いました。作るのは白玉です。3つのグループに分かれて調理しました。みんなでうまく分担し順調に進めることができました。白玉の他にもみたらしのタレを作り、みたらしときな粉の2種類の味付けを用意しました。圧倒的きな粉が人気でした。みたらし作りは難しく、失敗する班もありましたが、誰もけがをすることなく楽しい調理実習になりました。白玉作りは、まぜる・まるめる・ゆでるといった簡単なレシピかつ、全員が参加できるため調理実習の料理として最適だったと思



ます。

団子に猫耳をつけている生徒もいておもしろい発想でした。串に刺して食べてもらうといった遊び要素もあり、終始楽しそうでした。「いただきます」の文化がないためか、各々食べ始めた時は驚きましたが、調理実習は大成功でした。片付けが終わると、サプライズでプレゼントと感謝状をもらいました。私たちからも生徒と2週間お手伝いに来てくれた卒業生たち一人一人に手紙を渡し、最後に記念撮影を行いました。







## 最後に

とても楽しくあっという間の 2 週間でした。毎日が驚きと発見で満ち溢れており、勉強になることも沢山ありました。ホームステイということもあり台湾の生活を知るとてもいい体験でした。

授業面では、生徒のみんなに楽しんでもらいたい、そういった思いで、授業が始まる直前まで資料の訂正を行っていました。一度作って完成ではなく、今よりもっといいものできないものかと毎日頭を悩ませました。コメントペーパーを読み、反省点と良かった点をふまえて、メンバーで話し合い、良いものをつくろうと奮闘しました。日に日に生徒の取り組む姿が真剣になっていく様子は、とても嬉しく、やりがいを感じました。コメントペーパーで、授業が楽しかったと言ってもらえてとても嬉しかったです。

HIAT に参加することは正直少し悩んでいました。私自身が留学 1 ヶ月前ということもあり、スケジュールや経済状況、高いとはいええない自身の語学能力など、不安要素がありました。しかし、今になってみると本当に参加して良かったと思います。参加しなければ、出会えなかった人や知ることができなかつたことが多くあります。価値のある体験ができた 2 週間でした。

自分の言語能力も少し上がったと思います。

授業では、生徒のみんなに日本での注文の仕方を教えているものの、私が台湾で注文ができなかつたのです。しかし、日々台湾で生活するうちに買い物や注文ができるようになり、大きな成長を感じました。

HIAT に参加するにあたって、多少の言語能力とやる気さえあれば交流を行うことは可能です。しかし、コミュニケーションにおける互いのストレスを減らすことや、正確な意思疎通を行うためには、より高い言語能力が必要であることは感じました。来年も参加したい、と思っているからこそ現状では力不足であることを実感しています。多くの方が助けてくれたおかげで、今回の HIAT は成功しました。先生方、卒業生、生徒のみんな、それに HIAT に参加した仲間、全ての人に対する感謝の気持ちを忘れません。

